

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

# 人権だより

総務課（吉備庁舎）

電話 22-3291  
ファクス 52-3210

## 人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／3月19日（木）13:00~16:00
- 場所／きび保健福祉センター

## 電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番（さまざまな人権問題）  
☎ 0570-003-110

こどもの人権 110 番（いじめ・虐待など子どもの人権問題）  
☎ 0120-007-110

### 命の重さは同じ

広報令和7年（2025年）3月号で、小学生のころに考えていた「水戸黄門」のお話のことを書かせていただきましたが、今回は中学生のころのお話です。

国語の宿題で「物語を作ろう」という課題が出ました。私は「命の重さは同じはず」という思いを込めて、次のようなストーリーを書きました。

5月に愛鳥週間（バードウィーク）があります。主人公の男の子は、小鳥の命を大切にしようと考え、巣箱を作ります。そして、その巣箱を木に取り付けようとしたとき、足元にいた毛虫（名前は当時流行していたケムンパス）を踏んでしまうのです。しかし、男の子はそのことを気に留めませんでした。小鳥の命を大切にしようとしながら、毛虫を踏んでしまう男の子。小鳥の命も毛虫の命も、命の重さは同じはずなのにおかしいと、当時の私は伝えたかったのでしょうか。

これは例えなので、人間に都合の悪い害虫はもちろん駆除されませんが、人間の命の重さに重い軽いはないと思います。今も、世界のあちら

こちらで戦争が行われています。領土問題や宗教の違いなど、さまざまな問題が原因とされていますが、果たして戦争を始めた人たちは、自分の命と最前線で戦う人の命の重さを、同じだと考えているだろうか、疑問を感じます。

昨年の朝ドラ「あんぱん」の中で、登場人物の釜じい「お国のためじゃろとなくしてええ命ら一つもない」と言い、嵩は「正しい戦争なんかない」と言いました。戦争は、最も大きな人権侵害だと考えます。

新しい年が明け、早くも2カ月が経ちました。今年もまた皆さんと一緒に、人権について考えていく年にしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

人権機関有田川理事 小田 浩子

## カスタマーハラスメント

カスタマーハラスメントとは、顧客などからのクレーム・言動のうち、

- ① 過大な要求や不当な言いがかりなど、主張内容などに問題があるもの、
- ② 主張する内容には正当性がある

が、暴力や暴言など、主張方法に問題があるものなどが考えられます。

「令和5年度厚生労働省 職場のハラスメントに関する実態調査」によると、約3割の企業でカスタマーハラスメントについて、従業員からの相談があったとされています。

一人一人が、カスタマーハラスメントの行為者にならないよう気を付けましょう。また、事業所においては、従業員を守るために対策を講じましょう。

### ①の例

- ・ 契約内容を超えた過剰な要求
- ・ 言いがかりによる金銭の要求

### ②の例

- ・ 身体的な攻撃（暴行・傷害）
- ・ 精神的な攻撃（脅迫・中傷・名誉毀損・侮辱・暴言）
- ・ 繰り返し返される執拗な言動
- ・ 拘束的な言動（居座り・監禁）
- ・ 土下座の要求

